

第22回『全国児童水辺の風景画コンテスト』入賞作品決定のご案内 ～文部科学大臣賞／国土交通大臣賞／環境大臣賞／農林水産大臣賞、優秀賞、特別賞の決定～

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団（Yamaha Motor Foundation for Sports）は、2010年10月26日（火）日展会館（東京都台東区）において、第22回『全国児童水辺の風景画コンテスト』の最終審査会を行い、文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、農林水産大臣賞（各1点）を含む入賞作品（計33点）を決定いたしましたので、ここにお知らせいたします。 ※応募総数 8,307 作品（昨年は 5,166 作品）

●文部科学大臣賞

「楽しかった砂の造形活動」



馬場 貴也（ばば たかや）さん
長崎県南島原市立野田小学校 5年生（10歳）

●環境大臣賞

「海のそこまでもぐったよ」



矢部 優花（やべ ゆうか）さん
徳島県阿波市立八幡小学校 3年生（8歳）

●国土交通大臣賞

「漁船パレード」



阿部 拓実（あべ たくみ）さん
愛媛県西宇和郡伊方町立佐田岬小学校 3年生（9歳）

●農林水産大臣賞

「大漁の海」



新居 里紗（にい りさ）さん
徳島県阿波市立久勝小学校 5年生（11歳）

※各賞の受賞者につきましては次頁を、コンテスト概要につきましては別紙をご確認ください。

■ この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください ■

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) 事務局：担当・平塚

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地 Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112 <http://www.ymfs.jp/>

■第22回『全国児童水辺の風景画コンテスト』入賞者一覧（敬称略）

最優秀賞				
賞名	氏名	学年(年齢)	作品名	所属
文部科学大臣賞	馬場 貴也	5年生(10歳)	楽しかった砂の造形活動	長崎県 南島原市立野田小学校
国土交通大臣賞	阿部 拓実	3年生(9歳)	漁船パレード	愛媛県 西宇和郡伊方町立佐田岬小学校
環境大臣賞	矢部 優花	3年生(8歳)	海のそこまでもぐったよ	徳島県 阿波市立八幡小学校
農林水産大臣賞	新居 里紗	5年生(11歳)	大漁の海	徳島県 阿波市立久勝小学校

優秀賞

「美しい海」部門				
賞名	氏名	学年(年齢)	作品名	所属
金賞	高田 千沙希	4年生(9歳)	巡視船よしの横にできた波	大阪府 貝塚市立津田小学校
銀賞	山内 優	3年生(9歳)	わーっ でっかい いそぎんちゃく	静岡県 磐田市立南小学校
銀賞	高瀬 彩友美	4年生(10歳)	美しい魚	徳島県 徳島市 鳴門教育大学附属小学校
銅賞	濱野 侑実	3年生(8歳)	すきとおった海	高知県 高知市立新掘小学校
銅賞	西村 文伽	5年生(11歳)	夕日に輝く海	広島県 福山市立緑丘小学校
銅賞	雑賀 彩乃	5年生(10歳)	海の中の魚を観察	静岡県 磐田市立南小学校

「働く海」部門

金賞	宇部 星一	5年生(11歳)	漁港で働く人	千葉県 船橋市立金杉小学校
銀賞	塩田 裕美	5年生(10歳)	朝の市場	高知県 高知市立春野西小学校
銀賞	中出 三日沙	5年生(11歳)	活きがいいのお～	兵庫県 明石市立二見小学校
銅賞	東 泰広	2年生(7歳)	たくさんつれるといいな	神奈川県 海老名市立杉本小学校
銅賞	田村 水貴	3年生(9歳)	海へ行くふね	徳島県 徳島市 (あすなる絵画教室)
銅賞	佐々木 瞳	6年生(12歳)	魚をつるたくましい人々	岡山県 岡山市立西小学校

「楽しい海」部門

金賞	渡辺 奈央	(3歳)	水の中	千葉県 船橋市 二和ひつじ幼稚園
銀賞	田中 聖人	5年生(11歳)	みんなでいっしょけん命川下り	岐阜県 瑞浪市立日吉小学校
銀賞	原田 菜央	4年生(10歳)	小魚のいる海辺	兵庫県 明石市立二見西小学校
銅賞	津田 佳奈	2年生(8歳)	海でのわたしたち	高知県 高知市立昭和小学校
銅賞	増田 爽生	1年生(6歳)	お魚と友だちになりたいな	徳島県 阿波市立土成小学校
銅賞	上林 未侑	3年生(8歳)	すなあそび	徳島県 徳島市立千松小学校

「生きる海」部門

金賞	海野 祐未	4年生(10歳)	カニカニがっせん 星ガニ対キラガニ	静岡県 磐田市立北小学校
銀賞	渡辺 幸城	3年生(9歳)	ぼくってやっぱり天才 つかまえた!	静岡県 磐田市立北小学校
銀賞	若山 菜々峰	2年生(8歳)	海辺の石を研究したよ	兵庫県 明石市立二見小学校
銅賞	川野 みなみ	6年生(11歳)	海でマングローブを植えたよ	神奈川県 小田原市立豊川小学校
銅賞	織田 諒真	年長(6歳)	水の生き物とぼく	栃木県 那須塩原市 すぎのこ幼稚園
銅賞	築瀬 詠子	2年生(7歳)	屋久島で見たウミガメの産卵	神奈川県 横浜市 聖ヨゼフ学園小学校

特別賞

賞名	氏名	学年(年齢)	作品名	所属
日本舟艇工業会会長賞	小野 玲々菜	2年生(7歳)	ヨットとすてきな海	神奈川県 川崎市立荻宿小学校
日本マリナー・ビーチ協会会長賞	中村 勝海	6年生(11歳)	ぼくの好きな場所	岐阜県 岐阜市立長良東小学校
日本ユネスコ協会連盟賞	絹村 麻里奈	4年生(10歳)	たこの楽しい町	静岡県 吉田町立中央小学校
ジャパンゲームフィッシュ協会会長賞	松浦 大軌	6年生(11歳)	美しい魚たちがいる海	埼玉県 狭山市立柏原小学校
ヤマハ発動機賞	坂部 有香	5年生(10歳)	海へ大ジャンプ	徳島県 徳島市立昭和小学校

※各作品の詳細につきましては、当財団ホームページ (<http://www.ymfs.jp/>) にて、ご覧いただけます。

※入賞は「最優秀賞」「優秀賞」「特別賞」の合計33点、入選は予選を通過した474点のことを指します。

◆審査員長 講評

工藤 和男 画伯 社団法人 創元会理事長、日展評議員

今回選ばれた作品は、楽しく感性豊かな作品が多く非常に観察力が高いということがわかります。私も魚の絵を描くのでその難しさがよくわかるのですが、「働く海」の金賞に選ばれた秋刀魚の水揚げは魚の細かさがよく描かれており、水揚げの時の臨場感が非常にうまく表現されています。

また、今回は「楽しい海」「美しい海」「働く海」「生きる海」に分けて審査しましたが、それぞれの部門ごとに海洋国である日本の特徴がよく表れていると思いました。

世の中は年々厳しさを増していますが、子どもたちがこうして自然を見る目を養うことは情操教育の中でも非常に大切です。このようなコンテストが22年の長い間に渡って開催されていることは、まさしく関係各位のご尽力の賜であると思います。これからも継続して開催し、より多くの子どもたちに水辺に赴く機会と、絵を描くことで自然を見つめ直す機会を提供していきたいと考えています。

◆審査員コメント

◇最優秀賞

●文部科学大臣賞

小野 保 様 文部科学省 スポーツ・青少年局青少年課 青少年体験活動推進専門官

今年もたくさんののびのびと描かれた子どもたちの作品に出会えたことを嬉しく思います。
子どもたちが生き生きと活動している様子が丁寧に描かれた作品を選ばせていただきました。

●国土交通大臣賞

成瀬 英治 様 国土交通省 港湾局 国際・環境課 港湾環境政策室 室長

多くの船が波しぶきをあげている様子が上手に描かれ、作品全体に躍動感が溢れています。
また、船に乗っている子どもたちも含めて、楽しそうな生き生きとしている感じが伝わってきました。

●環境大臣賞

須藤 伸一 様 環境省 水・大気環境局 水環境課 課長補佐

水辺の自然とふれあう中、子どもの生き生きとした表情がうまく描かれていてとても感動しました。
今年は国際生物多様性年ということもあり、生物との共生ということで、たくさんの生き物が描かれていることも選考の基準とさせていただきます。

●農林水産大臣賞

石井 馨 様 農林水産省 水産庁 漁港漁場整備部 計画課 総括課長補佐

この絵には、海と人と船、そして生き物である魚といった、海に関わる主要な要素がすべて含まれているだけでなく、ありありと、生き生きと描かれている。そうした点を評価して選考いたしました。

<ご参考>

■コンテスト概要

- ・主旨 ①幼少期に、海や川などの水辺に出かけ、興味・関心を持つこと
②自己の体験を絵にすることで、人間性涵養に必要な感性や表現力を醸成する
- ・テーマ 「楽しい海」「働く海」「美しい海」「生きる海」4つのテーマを部門として作品を募集
- ・審査 社団法人創元会理事長・日展評議員の工藤和男画伯を審査員長とする7名の審査員と、後援をいただいている文部科学省、国土交通省、環境省、農林水産省の審査員により実施
- ・賞典 最優秀賞：文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、農林水産大臣賞（各1点）
優秀賞：「楽しい海」「働く海」「美しい海」「生きる海」の4部門から各金賞1点、銀賞2点、銅賞3点
特別賞：「日本舟艇工業会会長賞」「日本マリーナ・ビーチ協会会長賞」「日本ユネスコ協会連盟賞」「ジャパンゲームフィッシュ協会会長賞」「ヤマハ発動機賞」（各1点）

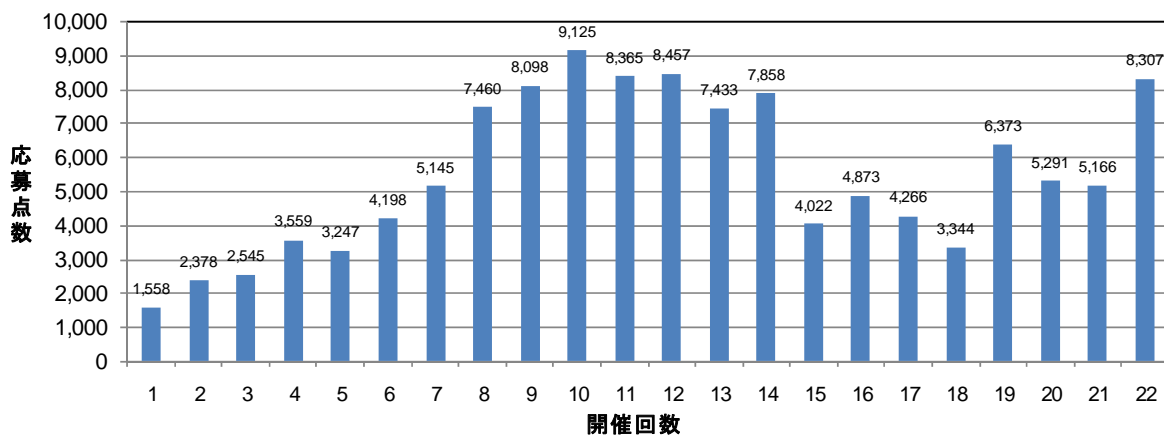
■本コンテストの応募状況

第22回「全国児童水辺の風景画コンテスト」には全国の都道府県から**8,307点**の応募があり(昨年5,166点)、昨年比**1.6倍**の応募数となりました。

テーマ別にみると、全体的に増加傾向にあります。特に「美しい海」は昨年比2倍以上の応募作品がありました。家庭や学校における自然体験の場が増え、自然環境に対する意識が高まったためではないかと思われます。年齢別では、幼児・小学生ともに昨年比約1.6倍に応募数が増加し、特に高学年では、学校で学んだ生き物の生態や自然環境、水辺に関わる産業などに対する興味関心の高まりからか、どの部門に対してもバランスよく応募がありました。いずれの作品も、子どもたちが実際に水辺に出かけ、体験したことや感じたことが描かれており、その時の感動や驚きなどが生き生きと表現されていました。

なお、入賞作品は2011年3月3日(木)～6日(日)に開催される「ジャパンインターナショナルボートショー2011イン横浜」(横浜市・パシフィコ横浜)など各地で開催される海洋関係のイベントに展示するほか、当財団の各種ツールやインターネット・ホームページに掲載する予定です。

◆応募数推



◆部門別応募数推移

